

## 子育て支援室「さくらんぼ」閉室のご挨拶

子育て支援室「さくらんぼ」は、2003年、保育子育て研究所（現チャイルドエデュケア研究所）の設立と同時に、子育て中の保護者への支援を活動の一分野として開設されました。

地域の子育て家庭の皆様にとって必要な支援とは何か、大学として果たすべき役割は何か、子どもや保護者にとっての最善の利益とは何か——そうした問い合わせながら、活動を進めてまいりました。6年目には現在の場所（7号館）へ移転し、活動の形態や内容を工夫しながら、現在の子育て支援室「さくらんぼ」の形を築いてまいりました。スタッフの着任や異動などにより体制は変化してきましたが、設立当初からの理念は変わることなく受け継がれています。それは、保育実践・子育て・大学教育・研究活動が交流を通して融合し、新たな学びや価値を生み出すという考え方です。当研究所は、「交わる場を創出すること」と「交わりを促す触媒として機能すること」という二つの使命のもとに活動してまいりました。

子育て支援事業については、附属幼稚園における子育て支援と、研究所としての事業のあり方を設立当初から検討してまいりました。このたび、国の施策「こども誰でも通園制度」を豊明市の事業として附属幼稚園が受託することとなり、それを契機として、本キャンパスの子育て支援事業の見直しを行いました。その結果、附属幼稚園が本来担うべき子育て支援の役割に立ち返り、研究所が運営してまいりました子育て支援室「さくらんぼ」を閉室し、附属幼稚園における子育て支援事業に一元化することいたしました。

来年度からは、「こども誰でも通園事業」を活かしながら、地域の子育て家庭への支援をさらに充実させてまいります。附属幼稚園の“くまりん”の「さくらもち」「さくらっこくらぶ」「こども誰でも通園（仮称）」などの事業を通して、皆様とお会いできることを楽しみにしております。引き続き、本学の子育て支援へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、これまで20余年にわたり子育て支援室「さくらんぼ」をご利用くださった皆様、交流会に参加してくださった学生・教職員の皆様、並びにご支援くださいました関係各位に心より感謝申し上げます。

これまでの交流を通して培った知見を、今後の子育て支援活動へとつなげてまいります。

皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

2025年12月1日

チャイルドエデュケア研究所長・所員一同